



第63回松戸市七草マラソン大会について

市民の「健康づくり」「ふれあい」「競技力の向上」を目的に、個々の体力に応じたスピードで走り、完走する喜びを味わっていただくことができ、新春の恒例行事となっております第63回松戸市七草マラソン大会を来年1月7日七草の日に開催いたします。

今回大会の目玉として、5kmの部及び10kmの部にランナーからの要望の多かったネットタイム（スタートラインを通過してからゴールラインを通過するまでのタイム）を導入いたします。

また、ネットタイムの導入に伴い、5kmの部及び10kmの部のコースを一部変更しております。

今大会も招待選手として、松戸市出身の現役学生ランナーで、早稲田大学競走部の駅伝主将として箱根駅伝をはじめ、今年の学生三大駅伝全てに出場した安井 雄一選手が参加いたします。

また、松戸市が2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたホストタウンになっているルーマニアより、ルーマニア大使を含む3名が来賓として来訪し、若手有望選手2名が招待選手として参加いたします。

日 時 : 平成30年1月7日（日） 開会式8時40分～
場 所 : 松戸運動公園 陸上競技場他周辺コース
申込者数 : 6,200名（前回大会 申込者数 6,065名 完走者 5,384名）
ハーフマラソン以外では過去最多の申込者数

内 容 : ファミリー2km、小学生2km、中学生3km・5km、
高校生・一般5km・10kmからなる全15種目
入賞者には順位に応じて賞状、メダル、キーホルダー。
完走者には記録証（一部種目ネットタイム併記）を即日配布
チーバくんやまつどさんの来場、出店エリア等のお楽しみ要素

招待選手 : ①安井 雄一 選手 早稲田大学競走部 駅伝主将 4年
松戸市出身（常盤平中学校→船橋市立船橋高校）の現役学生ランナーで、今年の箱根駅伝（往路5区の山上り）や出雲駅伝（6区）、全日本大学駅伝（8区）に出場するなど学生駅伝の最前線で活躍している。



小学校中学年 2km の部と 10km の部に出場予定

②ルーマニア若手有望選手 2 名

○アレクサンドル・ソアレ選手（ルーマニア若手有望選手）
リオオリンピックマラソン出場

2017 ユニバーシアード 1 万 m² 位

○アレクサンドル・コルネスキ選手（ルーマニア若手有望選手）
小学校高学年 2km の部と 10km の部に出場予定

特別来賓 : ○タティアナ・ヨシペル氏（駐日ルーマニア大使）
○アレクサンドル・グバンドル氏（ルーマニア大使館職員）
○アウグスティン・ヤンク氏（ルーマニア陸上競技連盟事務総長）

★ルーマニア関係の経緯について

第 6 1 回松戸市七草マラソン大会にて、大会初の外国人招待選手として同国オリンピック代表選手 2 名の参加を契機に、東京オリンピック・パラリンピックにおけるキャンプ誘致を開始。平成 2 8 年 1 2 月 9 日に正式にホストタウン登録され、翌年 1 月 8 日に行われた第 6 2 回松戸市七草マラソン大会ではホストタウン決定を記念してタティアナ・ヨシペル駐日ルーマニア大使が来訪された。

【問い合わせ先】

生涯学習部スポーツ課

☎ 0 4 7 - 7 0 3 - 0 6 0 1

第63回松戸市七草マラソン大会開催要項

1. 主催 一般財団法人松戸市体育協会・松戸市教育委員会
2. 共催 毎日新聞社
3. 後援 株式会社ジェイコム東葛葛飾
4. 主管 松戸市七草マラソン大会実行委員会
5. 競技運営 松戸市陸上競技協会
6. 協力 松戸警察署・松戸東警察署・松戸市スポーツ推進委員連絡協議会・松戸交通安全協会
松戸東交通安全協会・松戸新京成バス株式会社・松戸市レクリエーション協会
日本赤十字社千葉県支部・千葉県柔道整復師会松戸支部・松戸市消防局・松戸市立病院
専修大学松戸高等学校・松戸市立松戸高等学校・千葉県立松戸高等学校
松戸市立第六中学校・松戸市立寒風台小学校
7. 開催日 平成30年1月7日(日) 雨天決行
8. 会場 松戸運動公園陸上競技場他周辺コース
9. 種目及び参加料

種目コード	種目	スタート時間(予定)	参加資格	参加料	
1	ファミリー2kmの部	9:29	親子(小学1・2年生)	2,500円	
2	小学男子 中学年 2kmの部	9:27	小学生男子(3・4年生)	800円	
3	小学女子 中学年 2kmの部		小学生女子(3・4年生)		
4	小学男子 高学年 2kmの部	9:25	小学生男子(5・6年生)		
5	小学女子 高学年 2kmの部		小学生女子(5・6年生)		
6	中学男子 3kmの部	9:50	中学生男子(1年生のみ)		
7	中学女子 3kmの部		中学生女子(1・2・3年生)		
8	中学男子 5kmの部	10:10	中学生男子(1・2・3年生)		2,800円
9	一般男子 5kmの部		一般男子		
10	高校男子 5kmの部		高校男子	1,600円	
11	一般女子 5kmの部		一般女子	2,800円	
12	高校女子 5kmの部	10:15	高校女子	1,600円	
13	一般男子 10kmの部		一般男子	2,800円	
14	高校男子 10kmの部		高校男子	1,600円	
15	一般女子 10kmの部		一般女子	2,800円	
			高校女子	1,600円	

※募集定員

- ・ファミリーの部のみ500組
- ・但し、他の種目においても申込期間中に参加申込を打ち切る場合があります。

10. 参加資格・小学生以上の健康な方

- ・小中学生、高校生は、保護者の同意を得た方
- ・10kmコースについては、交通事情等の関係上70分以内で走れる方

※このマラソン大会は、松戸市民及び一般利用者の好意と松戸警察署、松戸東警察署、松戸新京成バス等の協力で行われております。10kmの部は大会本部が定める中間点を35分以内で通過できない競技者は、ナンバーカードをはずし、係員の指示に従い速やかに道路を空けてください。

- 1 1. 表彰ほか (1) 全員に参加賞及び完走者には記録証
(2) 個人賞として各部門1位～3位を表彰(メダル・賞状)
(3) 4位以下は下記のとおり記念キーホルダーを贈呈
・ファミリーの部 4位～10位まで
・小学男子・女子の部 4位～10位まで
・中学男子・女子の部 4位～10位まで
・高校男子・女子の部 4位～6位まで
・一般男子・女子の部 4位～6位まで
(4) 「63回」大会のため、各部門63位の方に記念品を贈呈
※順位は全てグロスタイムで計測します。
- 1 2. 申込方法 (1) 郵便振替 平成29年9月1日(金)～10月15日(日)
(2) インターネット・電話・FAX(業者委託)
平成29年9月1日(金)～10月31日(火)
上記(1)(2)により、参加料を添えて申込み。
※申込後の取消、不参加については、返金いたしません。参加賞をもってかえさせていただきます。
- 1 3. 問合せ先 第63回松戸市七草マラソン大会実行委員会事務局
(松戸市教育委員会スポーツ課内) ㉞047-703-0601
- 1 4. 注意事項 (1) 前記9に記載したスタート時刻(予定)については、参加申込者数により変更になる場合がありますので、プログラム及びホームページで確認してください。
(2) 参加者の皆様には申込受付終了後、ナンバーカード(計測用リグ)、参加賞、プログラム等を12月下旬に発送いたします。
(3) 申込後の種目変更はできません。
(4) 大会当日の申込受付はいたしません。
(5) 参加される方は各自の責任において健康管理をしてください。競技中の事故については、応急処置以外は一切の責任を負いません。
(6) 競技役員が競技続行不可能と判断した方に対し、競技を中止させることがあります。
(7) 参加者は競技役員の指示に従ってください。また、危険回避のため競技を中止することがあります。
(8) コース内を緊急車両が通過する場合、競技役員の指示がなくても左側に寄り緊急車両の通行を優先してください。
(9) 駐車場、駐輪場が少ないので、車・自転車での御来場は控えてください。
(運動公園内には、駐車、駐輪はできません)
(10) 主催者は、会場内及び園外臨時駐車場、駐輪場での事故や手荷物の盗難、紛失等に関し一切責任を負いません。
(11) コース上の車の駐車は厳禁とします。
(12) 表彰については、各競技終了後準備ができ次第随時行います。
(13) 全体での閉会式は行いません。
(14) 不測の事態(地震・事故等)が起きた場合は、参加者等が自らの身体生命の安全を確保してください。
- 1 5. 自動判定システム
(1) 本大会は、記録・着順を自動判定システム(グロスタイム)で計測いたします。5km、10kmの部は参考記録としてネットタイムでも計測いたします。郵送しましたナンバーカードを必ず胸部に着けて競技に参加してください。
(ファミリーの部と他の部2種目に参加される方は、必ずその種目のナンバーカードを着けてください。同時に2枚は着けないでください。)
(2) 完走証は、フィニッシュ後、記録証発行所にてナンバーカードについている計測用リグと引換にお渡しします。
※計測用リグは必ずお返しくください。返却されない場合は、実費を請求させて頂く場合があります。

第63回松戸市七草マラソン大会開催概要

- 1 開催日時：平成30年1月7日（日）
 午前8時40分～開会式
 午前9時25分（小学生高学年2kmの部）スタート～
 午前10時15分（10kmの部）スタート
 午前11時30分頃最終ランナー ゴール予定
- 2 会 場：松戸運動公園陸上競技場他周辺コース
- 3 開 会 式：あいさつ 主催者 松戸市体育協代表理事、松戸市教育委員会教育長
 共催者 毎日新聞社千葉支局長
 来 賓 松戸市長
 来賓紹介、祝電披露
 招待選手紹介
 選手宣誓 No.9063 ファミリー2kmの部に参加の親子
- 4 参加人数：申込数 5,695件 6,200名（男子4,493名 女子1,707名）
 （詳細）市内：3,626件(63.7%) 4,057名(65.4%)
 県内：1,210件(27.2%) 1,259名(20.3%) 市内を除く
 県外： 859件(15.1%) 884名(14.3%)
 最北：北海道釧路市（男子5km） 最南：沖縄県那覇市（男子10km）
 最高齢者：81歳（女子5km）
- 5 出 店：松戸青年会議所（味噌汁の振る舞い）、松戸市商店会連合（甘酒、焼き芋）
 矢切ねぎコロッケ、パストール（七草がゆ）他 全13店舗
- 6 当日従事人数：594名（見込）
 （内訳）スポーツ課職員（臨時職員含む） 11名
 体育協会関係 201名
 スポーツ少年団 60名
 陸上競技協会 52名
 スポーツ推進委員連絡協議会 77名
 レクリエーション協会 5名
 ボランティア（高校生） 50名
 応援演奏（高校生） 36名
 松戸警察 30名
 松戸東警察 10名
 松戸市消防局 4名
 松戸交通安全協会 20名
 松戸東交通安全協会 6名
 千葉県赤十字特殊救護奉仕団 12名
 (公社)千葉県柔道整復師会松戸支部 3名
 応援職員 7名
 シンコースポーツ 10名

7 過去5年間の申込者人数：

年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
申込件数	4,293	6,178	5,191	5,193	5,535	5,695
申込人数	4,682	6,616	5,662	5,661	6,065	6,200

※件数と人数の差はファミリーの部は1件につき2名のため

第63回松戸市七草マラソン大会 進行スケジュール

	種目など	種目番号	時間	場所	ゼッケン種類
	選手受付		事前送付のため受付なし		
	開会式		8:40 ~	陸上競技場	
2km の部	小学男子(5・6年生)	4	9:25スタート	S1 陸上競技場 100mスタート地点	白 5701~6110
	小学女子(5・6年生)	5			ピンク 6201~6364
	小学男子(3・4年生)	2	9:27スタート		青 5001~5491
	小学女子(3・4年生)	3			黄 5501~5694
	ファミリー(小学1・2年)	1	9:29スタート		緑 9001~9505
3km の部	中学男子(1年生のみ)	6	9:50スタート	S2 陸上競技場 第3コーナー手前	白 7001~7052
	中学女子(1~3年生)	7			ピンク 7101~7178
5km の部	中学男子(1~3年生)	8	10:10スタート	S3 陸上競技場 第1コーナー	白 7201~7299
	一般男子	9			青 7301~7850
	高校男子	10			緑 7901~7986
	一般女子	11			黄 8001~8390
	高校女子	12			ピンク 8501~8541
10km の部	一般男子	13	10:15スタート		白 1~2034
	高校男子	14			青 2901~3021
	一般女子	15			ピンク 3101~3580

※表彰式は、各競技終了後、準備ができ次第随時行います。(1位~3位)

※全体での閉会式は行いません。

※ゼッケンに付いている計測用リグは、必ず返却してください。

第63回松戸市七草マラソン大会

スタート時間別 参加者内訳

コード	種 目	郵便	団体	スポーツ エントリー	ランネット	合計	スタート時間別	前年比	前年度	スタート時間
1	ファミリー	45	90	251	119	505	505	-25	530	9:29
2	小・男子2km(3・4年)	60	156	188	87	491	685	16	669	9:27
3	小・女子2km(3・4年)	26	23	93	52	194				
4	小・男子2km(5・6年)	44	110	182	74	410	574	12	562	9:25
5	小・女子2km(5・6年)	16	30	81	37	164				
6	中・男子3km(1年)	1	30	14	7	52	130	6	124	9:50
7	中・女子3km(1～3年)	3	45	19	11	78				
8	中・男子5km(1～3年)	4	60	26	9	99	1,166	79	1,087	10:10
9	一般男子5km	71	24	259	196	550				
10	高・男子5km	2	41	18	25	86				
11	一般女子5km	52	24	186	128	390				
12	高・女子5km	0	28	10	3	41				
13	一般男子10km	125	49	595	1,265	2,034	2,635	72	2,563	10:15
14	高・男子10km	4	54	20	43	121				
15	一般女子10km	27	7	114	290	438				
	高・女子10km	0	16	6	20	42				
	申 込 件 数	480	787	2,062	2,366	5,695	5,695	160	5,535	
	申 込 人 数	525	877	2,313	2,485	6,200	6,200	135	6,065	

※申込件数と申込人数の違いは「1. ファミリーの部」はペアで参加になるため

第63回松戸市七草マラソン大会 開会式

【 8時40分～ 松戸運動公園 陸上競技場 】

※9時25分には最初の種目（小学男女高学年2kmの部）がスタートしなければならないため、開会式は9時頃までに終わらせるので、開会式は約20分間です。

【開式通告】 司会者

1. 開会宣言 第63回松戸市七草マラソン大会実行委員長
2. 主催者挨拶 一般財団法人松戸市体育協会 代表理事
松戸市教育委員会 教育長
3. 共催者挨拶 毎日新聞社 千葉支局長
4. 来賓祝辞 松戸市長
※他来賓紹介及び祝電披露
※ルーマニア大使他2名
5. 招待選手紹介
 - ・早稲田大学競走部4年（常盤平中学校出身）
 - ・ルーマニア期待の選手（2名）
6. 審判長よりお願い 松戸市陸上競技協会 会長
7. 選手宣誓 選手代表者
※ゼッケンNo.9063（ファミリーの部）
8. 諸連絡 司会者

【閉式通告】 司会者

※ 閉会式は行いません。
各種目終了時に随時表彰式（1位～3位）を行います。

招待選手について

○安井 雄一（やすい ゆういち）選手

平成7年5月19日生まれ（22歳）・松戸市出身
早稲田大学 競走部 4年 駅伝主将（スポーツ科学部）

【自己記録】

1500m：3分51秒23

5000m：14分09秒39

10000m：29分07秒01

ハーフマラソン：1時間02分55秒

フルマラソン：2時間18分09秒



【主な成績】

2013年インターハイ 1500m 8位

2013年インターハイ 5000m 14位

2013年国民体育大会 5000m 4位

2015年箱根駅伝 復路8区に出場（区間7位）

2016年箱根駅伝 往路5区の山の上りに出場（区間5位）

2016年全日本大学駅伝 8区アンカーで出場（区間5位）

2017年箱根駅伝 往路5区の山の上りに出場（区間4位）

2017年出雲駅伝 6区アンカーで出場（区間4位）

2017年全日本大学駅伝 2区のエース区間に出場（区間8位）

【選手紹介】

松戸市出身の現役箱根駅伝ランナーで、所属する早稲田大学では1年時から3年連続で箱根駅伝に出場しています。2年からは山の上りで有名な往路5区を任されており、2017年の箱根駅伝では、区間4位の力走で早稲田大学の往路2位に貢献しました。2017年度は駅伝主将として、出雲駅伝ではアンカーを、全日本大学駅伝では2区のエース区間を務めチームを引っ張っています。七草マラソン大会の数日前に開催される2018年の箱根駅伝にも出場が有力視されている選手です。

【出身校】

松戸市立常盤平中学校 ⇒ 船橋市立船橋高校 ⇒ 早稲田大学

ルーマニア関係招待選手について

○アレクサンドル・ソアレ選手 (Alexandru Soare)

生年月日 1991年9月21日(26歳) 出身 Buzau (ブザウ)
種目 5000m、10000m、ハーフマラソン、マラソン

【自己記録】

5000m	14分03秒12
10000m	29分12秒76
ハーフマラソン	1時間4分7秒
マラソン	2時間18分52秒

【主な戦歴】

2015年ヨーロッパ選手権	10000m	2位
2016年リオデジャネイロオリンピック	マラソン	出場
2016年ヨーロッパバルカン選手権	10000m	優勝
2017年ユニバーシアード	10000m	2位



【一言】

ここ2, 3年で急激に力をつけてきたルーマニア期待の選手で、2016年のリオデジャネイロオリンピックではマラソンに出場しました。2017年8月に台北にて行われたユニバーシアードでは箱根駅伝で活躍する日本の選手にも勝ち、10000mで銀メダル、5000mで4位に入賞するなど確かな実力を備える選手です。

【目標】

2020年東京オリンピックのマラソンでメダルを取ること

○アレクサンドル・コルネスキ選手 (Alexandru Corneschi)

生年月日 1991年7月17日(26歳) 出身 Botosani (ポトシヤニ)
種目 5000m 10000m ハーフマラソン

【自己記録】

3000m	8分18秒
5000m	14分30秒02
10000m	30分24秒08
ハーフマラソン	1時間4分56秒

【主な戦歴】

2016年ルーマニア選手権	5000m	優勝	10000m	2位
2017年ルーマニア選手権	10000m	2位		
2017年ヨーロッパバルカン選手権	3000m	3位		



【一言】

陸上競技のキャリアは3年ほどですが、ルーマニア国内トップレベルの実力を持つ選手で、将来性のある選手です。東京オリンピックにマラソンで出場することを目指し、2018年からフルマラソンにも挑戦していく予定です。第61回松戸市七草マラソン大会に招待選手として出場いただいた、マリウス・イオネスク選手がコーチを務めています。

【目標】

2020年東京オリンピックのマラソンに出場すること

ルーマニア大使館からの来賓について

タティアナ・ヨシペル駐日ルーマニア大使 (Tatiana Iosiper)

2km ファミリーの部に出場予定

1967年(昭和42年)生

ルーマニアのNATO加盟に貢献するなど多方面で活躍

【主な経歴】

1992年 ルーマニア外務省入庁

1996年 在アメリカ合衆国ルーマニア大使館勤務
(1996年～2000年、2001年～2006年)

2000年 外務報道官兼報道課長(～2001年)

2007年 在イスラエルルーマニア大使館勤務
(2007年～2013年)

2013年 バルカン山脈・地域協力課勤務
黒海経済協力機構 高官委員会 代表

2016年 駐日ルーマニア特命全権大使に任命



アレクサンドル・グバンドル氏 (Alexandru Gubandru)

5km の部に出場予定 領事部所属

アウグスティン・ヤンク氏 (Augustin Iancu)

2km ファミリーの部に出場予定

ルーマニア陸上競技連盟事務総長

【経歴】

現役時代は10種目競技の陸上選手とボブスレー選手として、両方の世界で活躍し数々のメダルを獲得した選手です。

体育・スポーツ専門大学を卒業後、ルーマニアの世界的なスポーツクラブでコーチやディレクターを勤め、その後ドイツに渡り社会学を学び、帰国後はルーマニアで国のスポーツクラブの総監督を2013年まで務めました。

現在は、ルーマニアで陸上競技が盛んなスポーツクラブの監督を務め、あらゆるスポーツの代理人としても活躍中です。また、スポーツ庁の技術強化委員長でもあります。

昨年9月に行なった2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプに向けた現地視察で来松されました。



ルーマニアってどんな国？

ルーマニアは東ヨーロッパ、黒海西岸に位置する共和制国家で、南西にセルビア、北西にハンガリー、北にウクライナ、北東にモルドバ、南にブルガリアと国境を接しています。面積は約 23 万 8 千平方キロメートルで日本の 6 割強、人口は約 1,994 万人で日本の 6 分の 1 以下となっております。

吸血鬼ドラキュラの住む城のモデルとして有名なブラン城、世界遺産であるシギショアラ歴史地区をはじめとした中世的な景観や、豊かな自然が魅力的な国です。スポーツ選手ではモントリオールオリンピック女子体操金メダリストのナディア・コマネチ選手が有名で、陸上選手ではシドニーオリンピック女子マラソンで高橋尚子選手と激戦を繰り広げたリディア・シモン選手や北京オリンピック女子マラソン金メダリストのコンスタンティナ・ディタ選手がルーマニアの代表選手です。



ルーマニア国旗

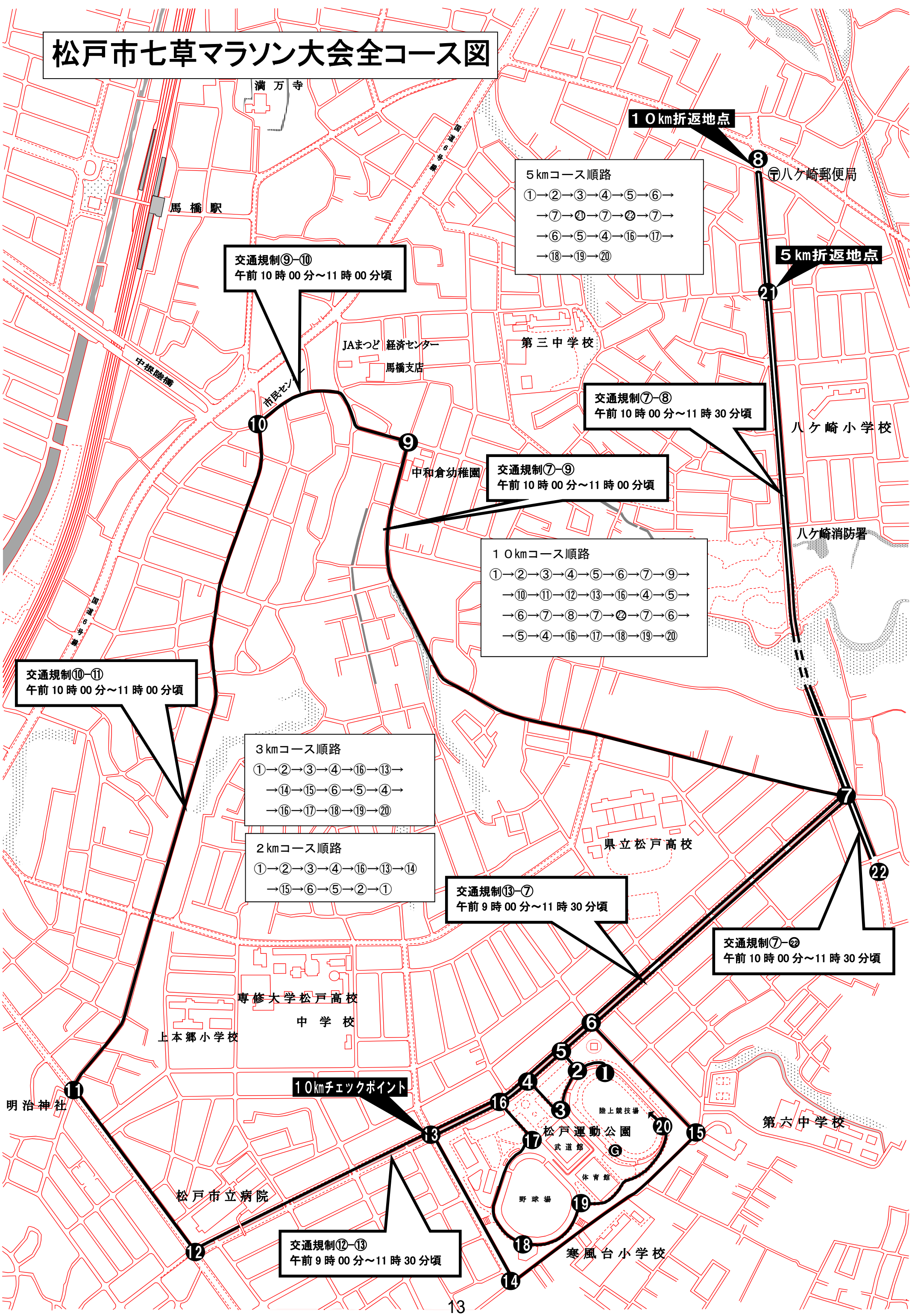


ブラン城
(ドラキュラ城のモデル)



世界遺産
シギショアラ歴史地区

松戸市七草マラソン大会全コース図



10 km折返地点

5 km折返地点

5 kmコース順路
 ①→②→③→④→⑤→⑥→
 →⑦→⑩→⑦→②→⑦→
 →⑥→⑤→④→⑬→⑭→
 →⑱→⑲→⑳

交通規制⑨-⑩
 午前10時00分～11時00分頃

交通規制⑦-⑧
 午前10時00分～11時30分頃

交通規制⑦-⑨
 午前10時00分～11時00分頃

10 kmコース順路
 ①→②→③→④→⑤→⑥→⑦→⑨→
 →⑩→⑪→⑫→⑬→⑬→④→⑤→
 →⑥→⑦→⑧→⑦→②→⑦→⑥→
 →⑤→④→⑬→⑭→⑱→⑲→⑳

交通規制⑩-⑪
 午前10時00分～11時00分頃

3 kmコース順路
 ①→②→③→④→⑬→⑬→
 →⑭→⑮→⑥→⑤→④→
 →⑬→⑭→⑱→⑲→⑳

2 kmコース順路
 ①→②→③→④→⑬→⑬→⑭→
 →⑮→⑥→⑤→②→①

交通規制⑬-⑦
 午前9時00分～11時30分頃

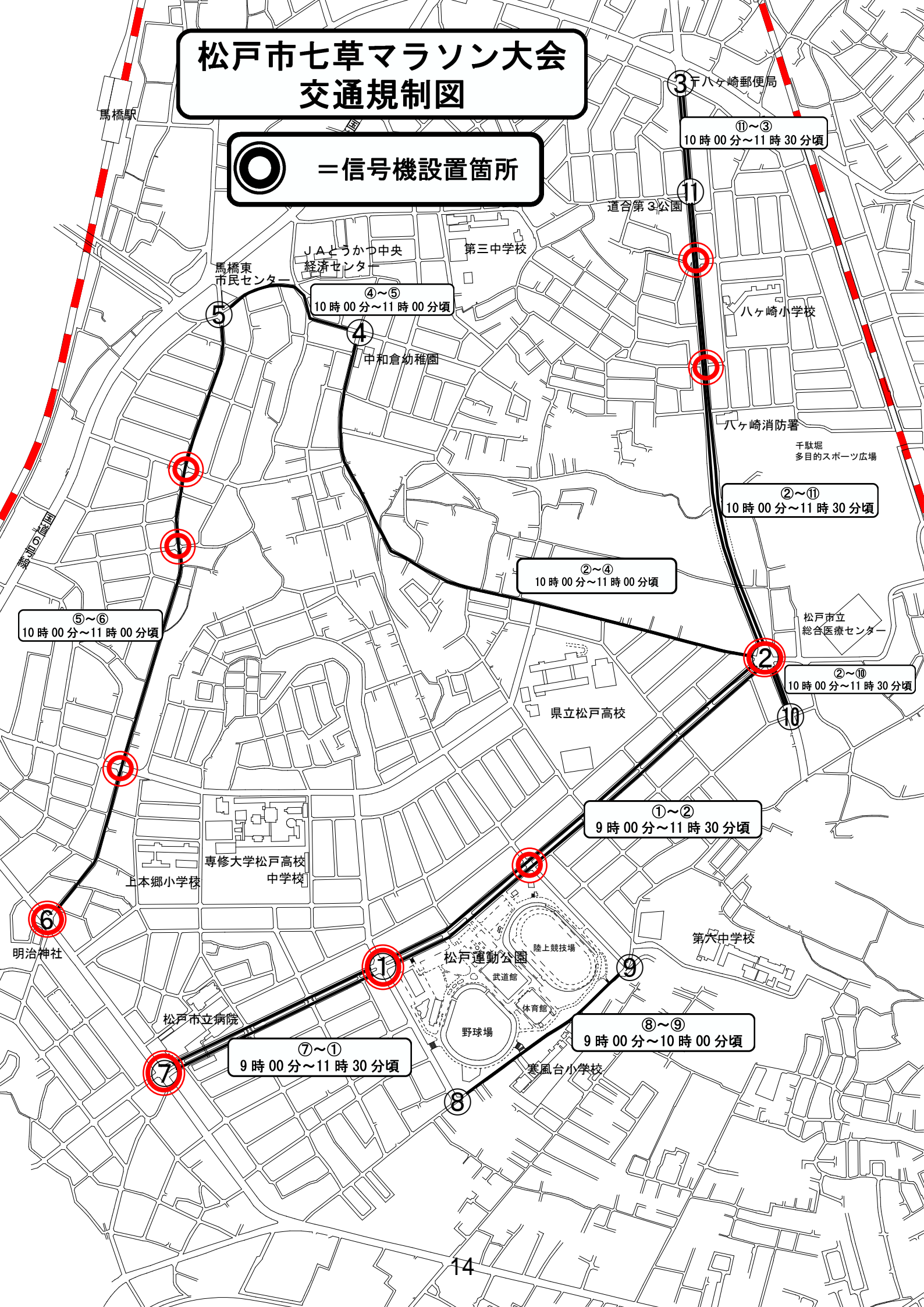
交通規制⑦-⑳
 午前10時00分～11時30分頃

10 kmチェックポイント

交通規制⑫-⑬
 午前9時00分～11時30分頃

松戸市七草マラソン大会 交通規制図

 = 信号機設置箇所



松戸市七草マラソン大会の沿革

昭和 29 年～30 年にかけて、オリンピックでの川島選手の入賞、青森・東京間駅伝での千葉県勢の活躍、近隣市町の元旦マラソンの開催等に刺激されて、松戸市でも長距離走に対する関心が高まりつつあった。

松戸市でも組織的な長距離競技会を実施してはどうかと話題になり、実現に向けての協議が重ねられた結果、新春の走り初め・健康安全祈願・耐寒競走の意味を踏まえ、七草の頃が最適と考え毎年 1 月 7 日に開催することとし、名称も「松戸市七草マラソン大会」としたのが七草マラソンの始まりである。

記念すべき第 1 回大会は昭和 31 年（1956 年）1 月 7 日、松戸駅前～馬橋駅折り返し～松戸神社前というコースのもと行われた。第 1 回大会の参加者は 50 人だったが、その後第 5 回には 100 人、第 17 回には数百人を数えるほどとなった。

その後、何回かのコース変更を経て、第 21 回大会（昭和 51 年）から運動公園を主会場とするようになった。また一般女子の部も同大会から新設された。

参加者はその後も増え続け、第 24 回には 2,000 人を超え、第 27 回には 3,106 人、第 30 回（昭和 60 年）では史上最多の 3,981 人が参加する大会となった。七草の「七」にちなみ第 17 回・第 27 回には記念大会を開催し、大会発足に尽力した功労者や永年競技役員等を表彰した。

第 34 回大会（昭和 64 年）では、開催日の朝に昭和天皇が崩御され、開会に先立ち黙禱を行い実施。昭和最後の大会となった。

平成に入り、第 38 回大会（平成 5 年）からはそれまで 1 月 7 日開催としていた大会を、一般市民が参加しやすいよう七草の名称は残しつつ、「1 月 7 日に近い日曜日」に開催することとなった。この大会は市政施行 50 周年記念大会として実施され、大会運営功労者が表彰された。

平成 10 年には第 43 回大会が開催予定だったが、3 日前に降った大雪の影響により中止となった。第 1 回大会以来初の中止であり、現在まで七草マラソンの中止はこの年のみである。

第 46 回大会（平成 13 年）では、大会運営方法が大幅に見直され、七草マラソン実行委員会が設置、現在でも用いられている自動判定システムの導入やそれまで中学生以上としていた参加資格を小学生にまで認め、小学校中学年・高学年・ファミリーの部（2km）が追加されるなど、現在の形に近づいた。

平成 17 年には第 50 回記念大会を迎え、それまで郵便振込だけであった申し込みをインターネット経由でも可能にした。参加者の増加に伴い、ランナーの安全確保が難しくなったことから第 53 回大会（平成 20 年）から松戸警察署と協議の上、コースの一部に交通規制を実施、第 54 回大会（平成 21 年）には、これまで長年実施していた運動公園周回コース（5km、10km）から現在のコースに変更した。

平成 19 年に東京マラソンが開催されると、マラソンブームが広がり、申し込み人数も前回比で第 55・56 回大会では 800 人ずつ、第 57 回大会（平成 24 年）には 1,000 人増となり、4,814 人が参加した。

第 59 回大会（平成 26 年）では、松戸市制 70 周年記念大会として従来の 10km の部に代わりハーフマラソンの部を実施、参加者は過去最高の 6,616 名となった。

第 60 回大会（平成 27 年）ではハーフの部から 10km の部に戻ったが、第 60 回記念大会としてゼッケンや参加賞の事前発送やチーバくんの来場、10km の部では初となる給水の実施等を行ったところ、ハーフ開催以外では最高となる 5,662 名の参加申込があった。

第 61 回大会（平成 28 年）では日本・ルーマニアスポーツ・文化交流協会からの申し出と協力により、ロンドン、リオ五輪に出場した同国男子マラソン代表のマリウス・イオネスク選手と同国女子競歩代表のクラウディア・ステフ選手を七草マラソン大会初の外国人招待選手として招聘した。

第 62 回大会では、2020 年東京オリンピックパラリンピックに向けたルーマニアのホストタウン登録を記念して、ルーマニア大使及び一等書記官を含む 3 名が来賓としてお越しになり、本郷谷市長夫妻と共に 2km の部に参加。招待選手としては松戸市出身の現役学生ランナーで箱根駅伝等にも出場経験のある安井雄一選手や、ルーマニアの若手有望選手 2 名が参加。また、参加者数がハーフ以外で最高となる 6,065 名の申込みがあった。

コースの変遷

- 第 1～4 回 松戸駅～馬橋駅折返し～松戸神社間 8.7 km
 - 第 5～7 回 市役所～南花島～馬橋駅前～上本郷～市役所
 - 第 8・9 回 常盤平支所前～常盤平駅前～五香駅前～八柱霊園入口折返し
 - 第 10～20 回 常盤平支所前～五香駅前～常盤平駅前～常盤平支所前
 - 第 21～53 回 運動公園周回コース（千駄堀～馬橋・中和倉～新作～市立病院）
10km は 2 周
 - 第 54～62 回 現行コース（千駄堀～馬橋・中和倉～新作～市立病院～千駄堀～八ヶ崎～運動公園）
- 第 59 回大会のみハーフコースを実施

松戸市七草マラソン大会の変遷

年数	大会回数	コース及び大会の概要
S31	1回	1月7日、参加者50数名で開催。 (松戸駅～馬橋駅折返し～松戸神社間8.7km)
S35	5回	市役所～南花島～馬橋駅前～上本郷～市役所(参加者100名を越す。)
S38	8回	交通事情により常盤平にコースを移す。 (常盤平支所前～常盤平駅前～五香駅前～八柱霊園入口折返し)
S40	10回	常盤平団地内周回コースに移す。 (常盤平支所前～五香駅前～常盤平駅前～常盤平支所前)
S41	11回	中学男子団体表彰実施。
S44	15回	壮年の部(30才以上)新設。
S47	17回	七草の「七」にちなんで記念大会の開催。 (功労者7名、永年競技役員8名、永年参加上位者2名を表彰) 中学女子の部新設。
S51	21回	交通事情及び運動公園誕生をふまえ、運動公園周辺コースに移す。 一般女子の部新設。
S54	24回	参加者が初めて2,000名を超える。 中学男子の参加が多いため、中学男子1年の部新設。
S57	27回	七草の「七」にちなんで記念大会の開催。(参加者3,106名) (功労者8名、永年競技役員11名を表彰)
S60	30回	史上最多の3,981名の参加。
S61	31回	中学生の参加が多数のため、A(団体対抗及び個人順位)B(個人順位のみ)に分けて実施。 (この方法は、第39回大会まで実施。以降は一斉スタートとなる。)
S62	32回	運動公園陸上競技場改修のため、専修大学松戸高校前をスタート、同校グラウンドをゴールとする。
S64	34回	1月7日、昭和天皇崩御。昭和最後の大会となる。
H5	38回	一般市民が参加しやすいように、「七草」の名称は残しながら「1月7日に近い日曜日」に行うこととなった。 「市制施行50周年」にあたるため、記念大会として大会運営功労者21名と2団体を表彰。
H10	43回	降雪により、大会前日まで除雪を行うが路面凍結が予想されるため、第1回大会以来初の大会中止。
H12	45回	団体の部の表彰を廃止。
H13	46回	大会運営方法の見直し。 (実行委員会設置、自動着順判定システム導入、小学生の参加を認める等)
H17	50回	50回記念大会実施。各部門3位までの入賞者並びに50位の選手に、松戸市観光協会推奨品を贈呈。
H20	53回	コースの一部を時間帯交通規制をして大会実施。
H21	54回	交通規制の関係で長年実施してきた5km、10km周回コースを廃止し 新たなコース設定を行い実施。
H22	55回	参加申込人数が、3,000名を超える。
H23	56回	新京成バス迂回。ポカリスエット配布。競技係員に帽子を作製。
H26	59回	市制施行70周年を記念してハーフマラソンを実施。
H28	61回	招待選手としてルーマニアのオリンピック代表選手を2名招いた。 高校生以上の参加賞を選択制とした。
H29	62回	ルーマニア大使及びび一等書記官を含む3名が来賓としてお越しになり、本郷谷市長夫妻と共に2kmの部に参加。招待選手として松戸市出身の現役学生ランナーで箱根駅伝等にも出場経験のある安井雄一選手、ルーマニアの若手有望選手2名が参加。参加者数がハーフ以外で最高となる6,065名の申込み。

第63回松戸市七草マラソン大会参加賞

①Tシャツ (グリーン系×パープル)



②スポーツタオル (35cm×120cm) 高校生以上

タオル (20cm×120cm) 中学生以下

※デザイン、色は同じ



③アームカバー

